

ふみびと

第319号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

日々的大切さに 気づく季節

いつも会える人にこそ

約束しなくてもいつも会える人。友人、家族、慕っている学校の先生や親しい同僚など。顔を合わせるのが当たり前の日々を過ごす中では、会えるのが嬉しいと毎日新鮮に感じられるわけではないけれど、それがとても貴重なことだったんだと気づきます。

新しい生活が始まれば、環境に慣れていくことに手一杯で、気付いた頃にはそんな寂しさは薄れていくことは、何度か別れを経験するうちにわかってくるものですが、それでも慣れるものではなさそうです。

いことに慣れて、連絡を取ることがなくなることも。そんなことがあることを別れを重ねるうちに経験するからこそ、より寂しさを感じるのかもかもしれません。どこかで今と同じではいられなくなってしまうような気がして。

約束しなくても会える人も、時が経っても約束して会える人も、どちらもとても大切な存在だと思えるような気がします。

桜が咲き、散る季節。どうしても出会いととにも「別れ」がよぎるものですが、それと同時に、今会える人の大切さを思い出せる季節。

次

満開だった桜が散っていく。薄紅色の風景が落ち着いていく様子に少しさみしい気持ちになる。風景だけでなくそれを見上げる人の表情や心まで、桜は明るい色に染めていてくれたのだなとしみじみと思う。そんなセンチメンタルな感慨を胸に改めて桜の木を見上げてみると、これまで隠れて

いた若葉の緑に心を奪われる。ちらちらと漏れるまぶしい光に清々しい気持ちになる。その光の落ちる先の地面を見れば、そこかしこに生命力あふれる緑が生い茂っている。そうか、私が春の心地よさを嬉しくも感じた。

「お正月休みだから」とか「新しいお店ができたら」とか「理由」がないとなかなか会える機会も少なくなることもあるもの。あるいは会えないとどちらも感じるからこそ、

「理由」がなければ会えない寂しさ。会えないことが平気になってしまふ寂しさ。誰かと離れる度にそのどちらも感じるからこそ、

次回の次回発送日は4月の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前（21日）までに事務局に到着することを近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

生命の躍動

再び感慨にふける。そういえば毎年のようにこんな驚きを感じているな。そう気づいて自分でもおかしくなってしまうが、何度でも新鮮に驚きを感じられる心を嬉しくも感じた。



風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の筒にのりをつけて、宛宛の筒にのりをつけて、封下まで流し交り封今い交り

お知らせ

4月の発送日

4月の次回発送日は24日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前（21日）までに事務局に到着することを近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

投稿イベント

みんなの投稿冊子

前回募集した投稿イベントの「お題」について、たくさんご提案ください！ありがとうございます！次回、それらを元にみんなの投稿イベント第2弾を開催させていただきます！お楽しみに！

